

平和啓発事業

【支援金確定額：67,743円 支援率：50%】

記入日：平成25年（2013年）3月29日

■どのような活動をしている団体ですか？

世界の恒久平和を願い、核兵器の廃絶を目指し、市民への啓発活動を行う事を目的として、

- ◇広島市の被爆者が描いた「原爆の絵」30点を広島平和記念資料館から借用して展示会
 - ◇船橋市視聴覚センターが保管する平和関連の映画（フィルム、ビデオ、DVD）や他からもこれに類するものを借用して上映会
 - ◇東京大空襲写真展、紙しばい、折り鶴作成等船橋市役所ロビー、勤労市民センター、三山市民センター、各公民館にて、7月から8月にかけて開催。平成24年で27年目になります。
- 又、広島平和記念館に市民を派遣しています。



被爆者が描いた絵を食い入る様に見入る
船橋市役所ロビー

■支援金をどのように活用されましたか？

平成24年度事業実績額は次の通りです。

| | |
|-----------------|---------|
| 紙しばい講師謝礼 | 5,000円 |
| 会場設営、装飾 | 5,561円 |
| チラシ印刷、アンケート集発行 | 50,500円 |
| 原爆の絵搬送費、切手、メール便 | 51,810円 |
| 会場施設使用料 | 24,615円 |

この種行事への参加・協力を得るべく力を注いでいるのが「チラシ」による宣伝活動で、会員、協力者、知人、友人等に郵送等をもって送付し、配布するようにしています。それが事業運営の活動面の一番の要であり、且つ、財政面の最大の課題なので、財政基盤の実績を踏まえ、支援金の大半をそれに活用しています。



紙しばい上演
船橋勤労市民センターギャラリー

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

市民活動支援審査会での意見「市が行う平和事業との連携性、公益性」にもとづき、平成24年、初めてとなる学校関係での原爆の絵展を市内御滝中学校にて行う事が出来、併せて実施したアンケートでは11名の生徒さんから重量感のある文言を頂き、活動に取り組む上で大きな力を与えられました。支援事業に選考されたことによって、今日まで26年間、ほぼ同じ内容を繰り返す様な形で行ってきた、所謂、マンネリ化と云われても致し方ない状況を反省・改善する機会となりました。

支援事業公開ヒアリングや事業報告会への参加、実施事業事例集への掲載等による市民、各界との面識交流の機会を与えて頂いた事は事業運営上、大きな励みになりました。

■今後の活動の抱負について

これからも原爆の絵展を軸とした事業を展開していきますが、この事業を担っている中心メンバーに若い世代が少なく、当初から継続しているメンバーは20年以上になりますから高齢化し、体力的な面で厳しくなってきたので、どう克服するかが課題、目標であり、若い世代に加わってもらい、引き続き努力していきます。

これまで通り、「原爆の絵展」、「映画上映」を中心に活動を7月から8月の2ヶ月間に集中して、市内各所に取り組んでいく予定です。平成24年、初めて実施した学校での原爆の絵展をこれからも続けられる様に努力していくつもりです。

■問い合わせ先：事務局 春田 実章（はるた さねあき）

TEL：047-449-2725